

# 1 『悪いひと〜ヤクザ幼馴染の溺愛〜』

2 ※収録中に変更になった部分などもあるため、一部本編内容とテキスト  
3 トが異なります。

4  
5 窮地に立たされたヒロインを、幼馴染のやくざが助けてくれる純愛  
6 作品。

7 長年の夢だった自分の店を開いたヒロインだったが、オープンから  
8 数か月後、一緒に店を開いた男が店の権利書を持って失踪してしまう。

9 入れ替わるようにして現れたやくざの竹倉庵は、「お前の彼氏は店の  
10 権利書を担保に500万の金を借りて失踪した」とヒロインに告げる。

11 権利書をヤクザに売って店を手放すか、体売って彼氏の代わりに  
12 借金を返すかを迫られるヒロイン。

13 一度は体売ってでも店を守ろうと決意するが、庵に現実を突きつ  
14 けられ断念する。

15 ヒロインが完全に詐欺師に騙されただけの被害者だと知った庵は、  
16 昔ヒロインに助けてもらった恩義と恋心によって、逃げた男を見つけ  
17 出し、ヒロインの窮地を救う。

18 その結果、ヒロインは半ば強引に庵の恋人にされてしまうが、ヒロイ  
19 ンは別に嫌がっていないのでハッピーエンドである。

20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33

1 ■キャラ設定

2

3 ●竹倉庵（本作のヒーロー キャラ絵九月中にラフ上がります）

4 ・身長185cm

5 ・体重80キロ前後でやせ型

6 ・一人称 俺

7 ・二十代

8

9 創竜組の幹部ヤクザで、闇金の他、飲食業へのコンサルタント、投資  
10 を生業にしている。

11 口は悪く激しやすが、狡猾で頭が切れるため逮捕歴はない。

12 手段として使う暴力や薬物に躊躇がない。

13 気さくな話し方をするが本心を悟らせない冷たさがあり、遠回しに  
14 正論でいたぶるロジハラ気質。

15 幼い頃はいじめられっ子で、ヒロインによく助けてもらった。

16 ヒロインは初恋の相手。

17 担保で預かっていた店の権利書に、連名でヒロインの名前があった  
18 ため、放っておくわけにもいかず骨を折ることに。

19

20 ●舎弟（セリフ6個 キャラ絵無し）

21 竹倉の舎弟。元気な若い衆。庵よりは年下。

22

23 ●ヒロイン（声無し）

24 幼いころに死んだ父が経営していた喫茶店に、大人になった今も懂  
25 れを持っており、自分のカフェを持つために尽力していた。

26 そこに「オープンを手伝わせてくれ」と言い寄ってきたのが今の彼氏  
27 である。彼氏のサポートもあり、無事に店をオープンでき、売り上げは  
28 振るわないまでもどうにか生活できると胸をなでおろした矢先、彼氏  
29 が失踪してしまう。

30 入れ替わるように現れた庵に、彼氏の借金の話を聞かされる。

31

32

33

34

## ■トラック1 6分程度

1 失踪した彼氏を心配する日々を送っているヒロインのもとに、庵がや  
2 ってきた事の真相を突きつける。  
3  
4 突然のことに混乱するヒロインだったが、彼氏を信じようとするヒロ  
5 インに対し、怒りと苛立ちを募らせる庵は、ヒロインを風俗の面接に連  
6 れていくことに。

9 【ヒロイン、閉店後に自分用のコーヒーを淹れている】

11 SE:お湯が沸く音

12 SE:豆を挽く

13 SE:フィルターに豆を入れる

14 SE:ドリッパーにお湯を注ぐ

16 【10】

17 SE ドアが開く音

18 SE ドアベルの音。

20 【10】

21 庵【店を見回し】ふうん？

22 閉店後に、オーナー一人で優雅なコーヒータイムか。

23 いいねえ、俺もお邪魔させてもらおうか」

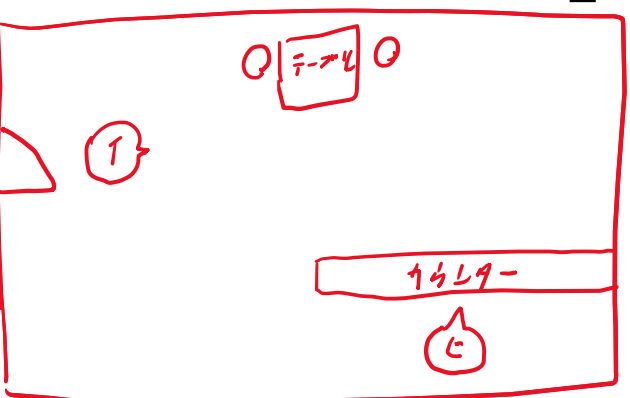
25 【ヒロイン、急に入ってきたやくざに警戒する】

27 庵「ああ、わかってるわかってる。

28 店じまいだってんだろ？

29 悪いが、そっちの客じゃねえんだ」

30  
31  
32  
33



1 【6】  
2 庵「返しきれない借金を抱えたカフェに、  
3 いかにも堅気じゃない男の来店だ。  
4 ——用向きは分かるだろ？」  
5

6 【ヒロイン、何のことだからわからない】  
7

8 【6】

9 庵「……は？ わかんねえのか？

10 【察して】ああ……あー、はいはい、なるほどね。

11 そっちのパターンか。

12 こりや可哀そうに」

13  
14 【ヒロイン「？？？」】  
15

16 庵「あなたの彼氏だよ。

17 ここ一週間くらい、急に連絡取れなくなってんじやねえのか？

18 しかも、店の権利書が金庫から消えてる」

19  
20 【ヒロイン「どうしてそれを？」】  
21

22 庵「なんだって知ってるさ。

23 大体の調べはついてるし、大方の予想もつく。

24 なにせ、おたくの彼氏は闇金でたっぷり金を借りて、

25 とんずらしちまったんだからな。

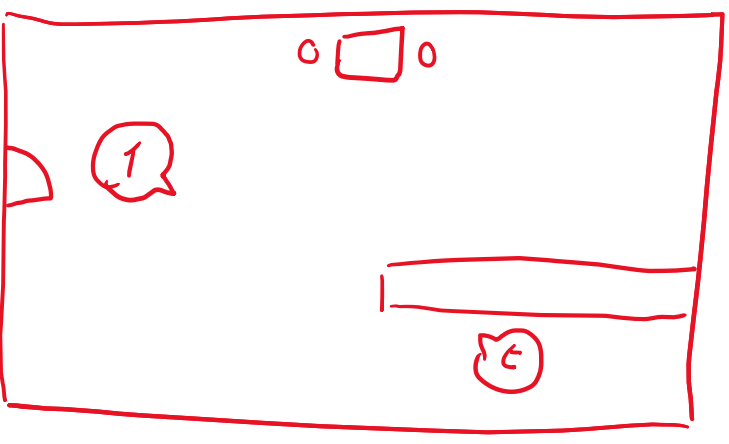
26 しかも、この店の権利書を担保にして、だ」

27  
28 【ヒロイン、愕然とする】  
29

30 庵「ふーん……その顔。

31 本当になんにも知らなかったって感じだな」

32  
33 【ヒロイン「借金って、いくらですか？」】  
34



1 【6】

2 庵「ま、大した額じゃねえよ。  
3 500万だ。」

4 この店を売っちまえば、簡単に回収できる。  
5 長話になりそうだし、座らせてもらうぜ」

6 【庵、話しながら窓際のカフェに移動する】

7  
8  
9 【9↓16】

10 庵「ま、そう警戒しなさんな。」

11 何も暴れて店を壊そうってんじゃないんだ。

12 あんたがニッコリ愛想笑いで、

13 その淹れかけのコーヒーを俺に出してくれりゃ、

14 俺はここに大人しく座って、静かに金の話ができる」

15  
16

SE 革靴の足音。椅子を引く音。ギシッと椅子に重みがかかる音

17  
18  
19 【16 ヒロインを見ずに】

20 庵「コーヒー」

21  
22 【ヒロイン、動けずにいる】

23  
24 【16 ヒロインを見て】

25 庵【威圧的に】聞こえなかったなら、

26 もうちよいでかい声で言おうか？」

27  
28 【ヒロイン「必ず返しますから、少し待ってください」】

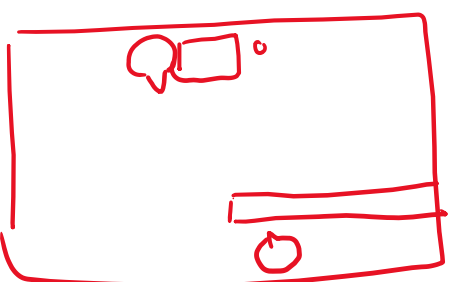
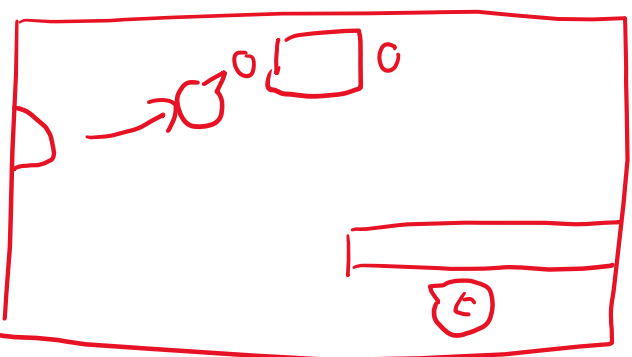
29  
30 【1】

31 庵「ああ……【うんざりと】よせよせ、やめろ。」

32 必ず返すとか、返済を待ってくださいとか、

33 そういうセリフは聞き飽きてんだよ」

34



1 【1】

2 庵「その後に続くセリフも、俺が代わりに言ってやろうか？」

3 3 そもそも私が借りたお金じゃない——とか、

4 4 返済なら、彼氏の方に迫ってよ——とか、

5 5 ああそれから、

6 6 【含み笑い】警察を呼びますよ——とか？」

7

8 庵「一つずつ答えていこうか。」

9 9 まず、確かにあんたが借りた金じゃない。

10 10 だが、あんたの彼氏はこの店を担保に金を借りた。

11 11 この、店の権利書持参でな」

12

13 SE：封筒をテーブルに置く

14

15 庵「権利書を見る限り、あんたと彼氏の共同名義だ。」

16 16 つまり、この店の所有権の半分を、

17 17 あんたの彼氏は俺に売ったわけだが……。

18 18 俺はこんな店要らねえから、店を現金に換えて、

19 19 金を回収したい」

20

21 庵「確かに、彼氏の方を追うのが筋だが、

22 22 どこに消えたかわからねえ男を探すより、

23 23 店を売った方が楽だし確実だ。」

24 24 そんな最後に警察だが……

25 25 ——呼んでみるか？」

26

27 庵「俺も警察と仲がいいわけじゃない。

28 28 呼ばれたら、大人しく帰るさ。」

29 29 だが、穏やかに借金の返済を頼みにきた俺を、

30 30 ろくに話もせず追い返すんだ。」

31 31 次はどんな奴らが、どんな手で返済を迫るのか、

32 32 ちゃんと覚悟できてるんだろうな？」

33

34 【ヒロイン、震えて青ざめる】

1  
2  
3 庵「優しく」それで？  
4 俺のコーヒーは？」

5  
6 【ヒロイン、慌ててコーヒーを淹れる】

7  
8 SE…カップにコーヒーを注ぐ

9 SE…カウンターから出て、庵に近づく

10 SE…カップを置く

11  
12 【ヒロイン、席についている庵の前にコーヒーを置く】

13  
14 【1 カップを見ながら】

15 庵「ああ、いい香りだ。

16 これでやっと落ち着いて話ができる。

17 【コーヒーを一口すすり、一息つく】

18 あんたも座りなよ」

19  
20 【ヒロイン、躊躇する】

21  
22 庵「座れって——いちいち脅されなきゃ動けねえのか？」

23  
24 SE…ヒロインが椅子に座る

25  
26 【1 ヒロインを見ながら】

27 庵「さて、面倒な会話の手間を省こう。

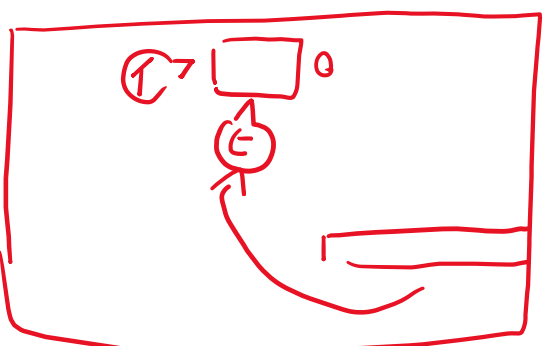
28 まず、借金の返済は待たない。

29 この店の経営状況は知ってるが、

30 どう考えても、ちよつと待てば金が用意できるほど

31 繁盛してるわけじゃない」

32  
33  
34 【1】



1 庵「つまり、あなたの前にある選択肢は二つだ。  
2 一つ。この店を売って借金を返す。  
3 二つ。俺が斡旋する店で稼いで、彼氏の借金を返す」

4  
5 【ヒロイン「斡旋する店って？」】

6  
7 庵【軽く噴き出して】おまえそれ……

8 本気で聞いてんのか？

9 やくざが斡旋する店つつたら、

10 風俗に決まってるんだろ。

11 稼げると言えば稼げるが……

12 見ず知らずの男相手に腰振る仕事が、

13 あんたに務まるとは思えねえな」

14  
15 庵「となると、結局あなたにできることは一つだ。

16 店の売却先は俺が見つけてきてやるから、

17 あんたは書類に名前とハンコをくれりゃいい」

18  
19 【ヒロイン「店で働く」】

20

21 【1】

22 庵「……は？」

23 【戸惑う】いや、だから……

24 店で働くってことは、体売るってことだぞ？

25 本当にわかってんのか？

26 ちょっと時間やるから、

27 調べてみろって風俗がどういうところか！」

28  
29 【ヒロイン「わかってるけど、店を手放すよりはいい」】

30

31

32

33

34



1 【1】  
2 庵「なんで……」

3 【いらだって】まさか、この店で待ってりや彼氏が  
4 戻ってくるでも思ってたのか？

5 あんたが彼氏だと思ってた男は、  
6 こっちじゃ有名な結婚詐欺師だ。

7 あいつに騙されて、借金背負わされた女が、  
8 あんたの前に何人いると思ってる」

9  
10 【ヒロイン】そんなこと、信じない」

11  
12 庵【ため息】あー、はいはい、そうですか。

13 私の大事な彼君が、そんなひどいことするはずないって？

14 女はみんなそう言うんだよな。

15 別にあんたが体売って稼げてえって言うなら、

16 どうぞご自由に」

17  
18 SE:立ち上がる

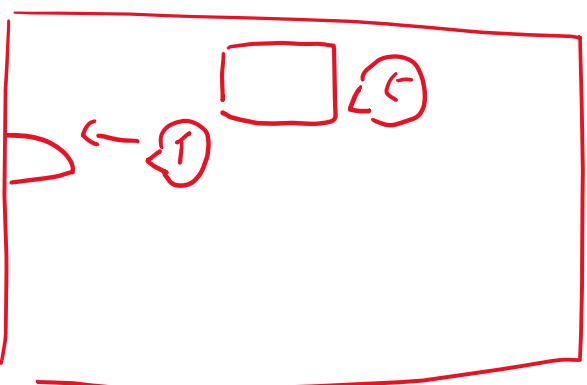
19  
20 【1 背を向けて】

21 庵「外に車を待たせてある。

22 面接と契約があるから、

23 事務所までご同行願おうか」

24  
25



1 ■トラック2 10〜15分程度

2  
3 ヒロインを車で人気のない場所までつれていき、「これが面接だ」と言  
4 っつて無理やりことに及ぶ庵。  
5 彼氏と始めた店を守るために、体売ることを選んだヒロインへの怒  
6 りとお仕置きを込めた執愛ドラッグレイプ。  
7

8  
9 【庵とヒロインが店から出てくると、舎弟が車の前で待っている】  
10

11 SE: 足音二人分

12  
13 【6】

14 舎弟【明るく】あ、兄貴!

15 【怪訝に】あれ……?」

16 権利書にサインさせるだけって言ってましたよね?

17 連れてくんですか?」

18  
19 【3 隣に立つ距離で 9を見ながら】  
20

21 庵「オーナー様は、彼氏と開いた店を手放すくらいなら、  
22 自分の体売って金を稼いだ方がマシだつてよ」  
23

24 舎弟【明るく】じゃ、今から面接ですか?

25 いつもこのところがいいですよね?

26 すぐに若いやつら集めますんで!」  
27

28 庵「やめろ。面接は俺一人ややる」  
29

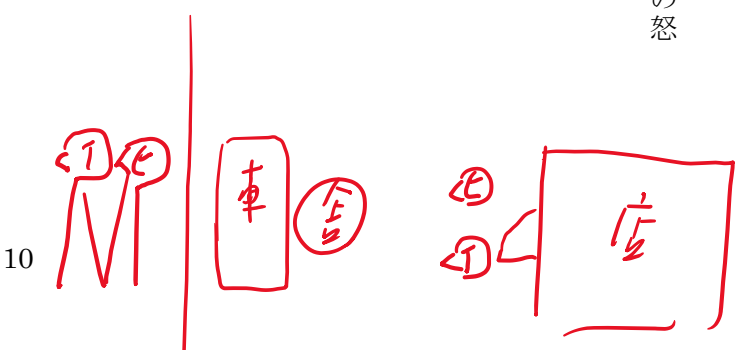
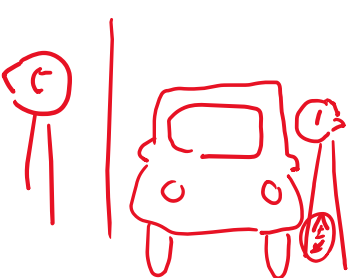
30 舎弟「え? でも……」

31 兄貴みたいな色男が相手じゃ意味ないっすよ。

32 面接なんだから、もつといろんな男集めないと」  
33

34 SE: 舎弟を殴る音

⑨ かいこむ目とさ



1  
2  
3 【舎弟、頬を殴られる】  
4  
5

6 【6】  
7 舎弟「ぎゃ……！」  
8

9 SE…よろけて車にぶつかる音  
10 SE…舎弟の服をつかんで引き寄せ

11 【舎弟の胸倉をつかんで静かにすごむ庵】  
12

13 【6 ヒロインに背を向けて】  
14 庵【「ぶりっ」として】お前、いつから俺の兄貴分になった？  
15 俺のやることに意味があるのか、ないのか……  
16 お前に判断できると思ってるのか？ ん？

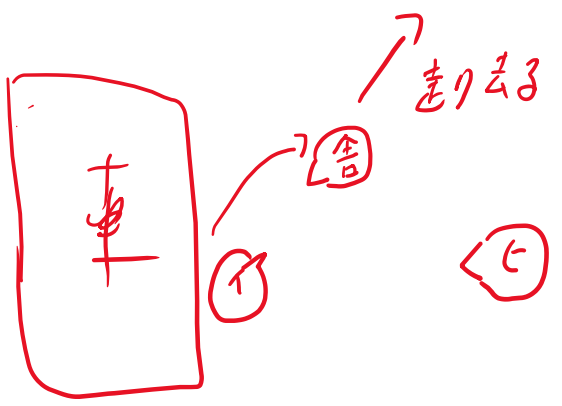
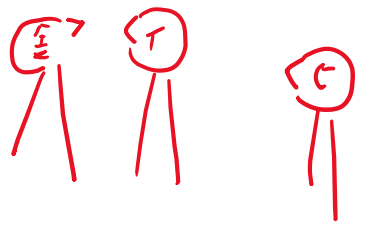
17  
18 舎弟「す、すみません……！」  
19 調子に乗りました！ すみません……！！」  
20

21 【庵、舎弟を道の方へ突き飛ばす】  
22  
23 【6】  
24 庵「失せろ。お前は車置いて歩いて帰れ」

25  
26 舎弟「は、はい！ 失礼しました！」  
27

28 【走り去る舎弟】  
29

30 SE…走り去る足音  
31 SE…車のドアを開ける  
32  
33  
34



1 【6 ヒロインに振り向いて】  
2 庵「じゃ、行こうか。」  
3 助手席へどうぞ、お姫様」  
4

5 SE:車内の環境音フェードイン  
6

7 【運転する庵。助手席にヒロイン。ヒロインは前を見たまま何も言わな  
8 い。何とも言えない沈黙を打ち破るタイミングを見計らっていた庵は、  
9 自分が幼馴染だと切り出す】  
10

11 【15】

12 庵「なあ……さつきからさ……  
13 なんか、ちよつと、気づいたりしてねえか……？  
14 このやくざ、どっかで見たことあるなあ……とか」  
15

16 【ヒロイン「6」】

17  
18 庵【深いため息】わかんねえか……  
19 ま、そっか……」  
20

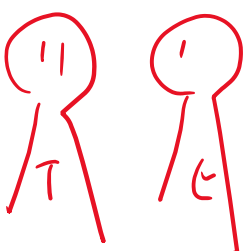
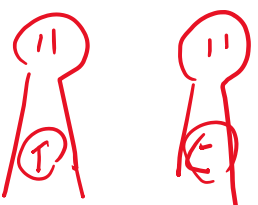
21 【ヒロイン「6.6.6」】

22  
23 庵「じゃあヒント。  
24 竹倉 庵（たけくら いおり）」  
25

26 【ヒロイン、驚いて庵を見る】  
27

28 【6】

29 庵「っはは……！ 思い出せたか？  
30 そうだよ。  
31 いじめられっ子の庵ちゃんだ。  
32 殴られて、泣いて、はいつくばって……  
33 お前の背中に隠れて震えてた弱虫だよ」  
34



1 【ヒロイン「懐かしいね。でも……」】

2

3

4 庵「言いたいことは分かる。

5 なんてひ弱ないじめられっ子が、

6 大人になってやくざなんかやってんのか……だろ？

7 別に珍しい話じゃねえさ。

8 高校に入る前の年に、両親が蒸発したんだ。

9 俺だけ家に残してな。

10 捨てられた俺は親戚中をたらいまわしにされて、

11 【自嘲】わかりやすくグレてこうなった」

12

13 【ヒロイン「大変だったんだね……」】

14

15 庵「軽く笑いながら」そんな、大げさに哀れむような話じゃねえだろ？

16 そっちだって、ガキのところに親父さんが死んでんだ。

17 結局、家族でやってたカフェも手放して……

18 大人になったあんたがようやく開いたカフェも、

19 男に騙されて借金のかたにとられそうになってる」

20

21 庵「穏やかに」なあ……やっこの思いで金をためて、

22 ようやく開いた店を諦めきれねえのは分かる。

23 けど、風俗で働いて借金を返しながらじゃ、

24 どうせカフェは営業できねえだろう？」

25

26 【6】

27 庵「俺だって、幼馴染を風呂に沈めたいわけじゃねえんだ。

28 ガキの頃に助けてもらった恩もある。

29 だから本気で止めるんだ。

30 あんたに風俗は無理だよ。

31 俺が舎弟を帰らせなきゃ、あんたは「面接」って名目で、

32 組の連中にマワされてた」

33

34

1 庵「それが終わったら、研修」でまた輪姦だ。  
2       あとは毎日毎日毎日毎日、本番アリの違法風俗で、  
3       女の扱いもろくに知らないような連中と、  
4       乳首から血が出てあそこが腫れあがるまでやり続ける。  
5       で、上りのほとんどは組が借金の返済に回収して、  
6       あんたの手元に残るのはギリギリ生活できる程度だ。  
7       悪いことは言わねえ。  
8       いったん店を手放して仕切り直せ。  
9       この世界に堕ちたら、二度とまともな人生には戻れねえよ。  
10      二度とな」  
11  
12 【ヒロイン「それでも、あのお店を手放したくない」】  
13  
14 庵【「うんざりしたため息」 ああ……そうかよ。  
15       ……そこまで覚悟決まってるってんなら、  
16       いいよ、わかった。  
17       やってやるよ、面接」  
18  
19 【ヒロイン、ぎくりとする】  
20  
21 庵「ええっと。もうこの辺りでいいか」  
22  
23 SE:ブレーキ音  
24 SE:タイヤが砂を滑る音  
25 SE:走行音ストップ  
26  
27 【ヒロイン「ハハはっ」】  
28  
29 【6 周り見回しながら】  
30 庵「ハハっ」  
31       見ての通り、何もない山道のだ真ん中だな。  
32       スマホの電波は届かないし、  
33       一番近い民家まで歩いて一時間。  
34       で、その民家にはやくざがたむろしてるとくる」

1  
2 【ヒロイン「どうしてこんなところに？」】  
3

4 【6 ヒロインを見て】  
5 庵「どうしてって……」  
6 債権者を地獄から逃がさないためだよ。  
7 急におじけずいて、警察にでも駆けこまれたら厄介だ。  
8 だからこういう山奥に連れてきて、  
9 助けを呼べない状態で無理やり犯して、  
10 はずかしい写真も動画もたっぷりとして、  
11 全部合意ですって誓約書も書かせて、  
12 絶対に風俗から逃げられないようにする」  
13

14 【ヒロイン「ひどいな】】  
15

16 庵「そうだな、ひどいな。  
17 だが、受け入れちまえば楽になる。  
18 時々いるんだ、とんでもねえ淫乱で、  
19 風俗の才能にあふれてる女ってのが」  
20

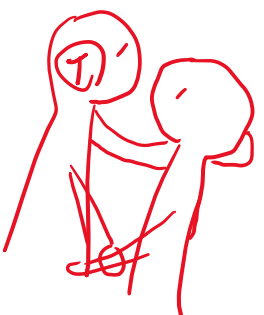
21 【庵、話しながら薬の瓶の蓋を開ける】  
22

23 SE：瓶の蓋を開ける  
24

25 【6】  
26 庵「あんたもそうなんだろう？  
27 だから店を売るより——【薬を一錠口に含む】  
28 こっちを選んだ【いい終わりに、無理やりキスする】」  
29

30 【無理やりディープキス10秒程度。キス終わりにヒロインに唇噛ま  
31 れます】  
32

33 SE：キスの間ずっと暴れる衣擦れ  
34



1 【1↓9 噛まれて下がる】  
2 庵「いつて……！」  
3 噛みやがって……！」  
4

5 【ヒロイン、ドアに飛びついて逃げようとする】  
6

7 SE ドアを高速ガチャガチャ  
8

9 【13】  
10 庵「なんだ、逃げるのか？」  
11 店を売る気になったってことでいいんだよな？」  
12

13 SE:ドアガチャストップ  
14

15 【13】  
16 庵「どうした？ 逃げろよ。  
17 好きでもない男に抱かれるってのがどういふことか、  
18 やっと想像できたんだろ？」  
19

20 【4 背後から】  
21 【囁くように】大丈夫……みんなそうだよ。  
22 どんなに威勢のいいことを言っても、  
23 直前になって逃げだしたくなる」  
24

25 【4】  
26 庵【含み笑い】けど、少し遅かったなあ……  
27 俺がキスする前に逃げる気になってりや、  
28 何事もなく返してやれたのに」  
29

30 【ヒロイン「どういう意味？」】  
31  
32 庵「さっきのキス、妙に甘い味がしただろう。  
33 あれ、口の中でとける即効性のオクスリなんだよ。  
34 【声のトーンを落として】非合法のな」





1  
2 【ヒロイン、怒り狂う】

3  
4 SE: 暴れるヒロイン

5 SE: 庵を突き飛ばす

6  
7 【1】

8 庵「おつと……！」

9 ははは！ おお、元気元気。いきがいいねえ。

10 そうやって暴れて、怒って、興奮すればするほど、

11 薬も強く、激しく回る。

12 すぐに怒ってんのか、発情してんのか、

13 自分でもわからなくなるさ。

14 もちろん、それを口移しで飲ませた俺もな。

15 怖がるような薬じゃねえよ。数時間で抜けるジョークグッズさ」

16  
17 【ディープキス三十秒程度】

18  
19 庵【優しく】唇、今度は嚙まねえのか？

20 とろんとした目えして……

21 薬、効いてきたな」

22  
23 庵「俺もだよ。ほら、わかるか？

24 こゝ、もうガツチガチだ」

25  
26 【ヒロイン、弱弱しく彼氏の名前を呼ぶ】

27  
28 【1】

29 庵【イラっとして】あ……？

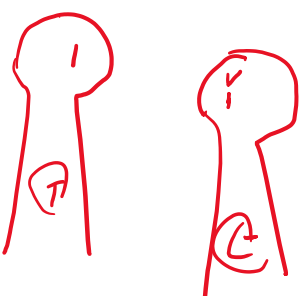
30 この状況で……よく彼氏の名前が出てくるな。

31 あんたを騙して逃げた男が、

32 こんな場所まで白馬に乗って

33 助けに来てくれるとも思ってたんのか？

34 馬鹿な女だな……ほんつとに馬鹿な女」



1

2

【1】  
庵「おい、俺を見る。」

3

で、ちゃんと俺の名前を呼べ。

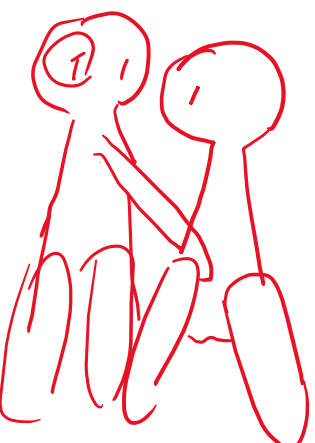
4

今からお前を犯す男が誰なのか、

5

その目と、頭と、体に刻み込むんだ」

6



7

庵「ほら、足開け。大きく」

8

【7 耳元で】

SE：衣擦れ

9

SE：触れる水音

10

庵「音、聞こえるか？ いきなり突っ込んでも平気なくらい濡れ濡れだ。」

11

Eroい顔して。【頬に軽くキス】

12

指、もっと奥に入れてって吸い付いてくる」

13

SE 水音ねちねち

14

【7】

庵「指、感じるんだろ？」

15

声我慢してねえで、派手にあえいじまえよ。」

16

どうせ誰も聞いちゃいねえんだ。」

17

俺以外な。」

18

ああ、いい声だ。指だけでそんなんじや、

19

奥に突っ込んで、腹ん中かき回したら

20

どうなっちゃうんだろうなあ？」

21

SE：水音ストップ

22

SE：ヒロインを抱き寄せる衣擦れ

23

【庵、ヒロインを膝に抱き上げる】

24

25

26

27

28

29

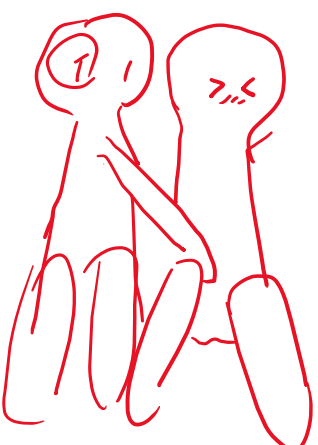
30

31

32

33

34



1 【7】  
2 庵「ほら、上に乗れ。  
3 自分から腰落として……そう」

SE:触れ合うだけの水音ねちねち

4  
5  
6  
7 庵「まだ入れるなよ。  
8 浅いところでゆっくり、じらす様に腰を振るんだ。  
9 そう、ゆっくり、ゆっくりな」

10  
11 【1】

12 庵「んー？ そうだな、つらいなあ。  
13 早く中に欲しいなあ。  
14 でもダメだ。

15 俺がいいって言うまで、お預けだ。  
16 ご褒美が欲しけりや、言うことを聞くんだな」

17  
18 庵「服のボタン、全部外せ。  
19 ブラもおろして、そう……

20 はは。いい眺めだ。  
21 胸、自分でいじってみろよ。  
22 腰揺らしながら、乳首つまんで、転がして、  
23 ぎゅーってつねってさ」

24  
25 庵「そう、いい子だ。  
26 今、自分で乳首いじりながら、軽くイッただろ？  
27 お前の入り口、物欲しそうにひくひくしてる。  
28 素直で、エロくて、かわいいなあ」

29  
30 【1→7】  
31 庵「頑張ってるお前に、ご褒美をやらなきゃな【言い終わりで耳舐めに  
32 なだれ込む】」  
33  
34



1 【7で耳舐め30秒程度】

2

3 【3】

4 庵「次、こっちも舐めてやろうな」

5

6 【3で耳舐め30秒程度】

7

8 【庵、次のセリフ耳元でささやきながらセリフ終わりできいきなり突っ込む】

9

10

11 庵「今、耳舐められながら何回いった？

12

13 自分だけずるいじゃねえか。

14

15 俺はまだ一回もイけてねえのに——【ここで入れる】さ！」

16

17 SE：派手めの水音&肉を打つ音

18

19 【2】

20 庵「ははははは！ すっげ……！ ああ、締まる……！

21

22 派手にいったなあ。

23

24 ずっと我慢して甘イキしてたところに、

25

26 お待ちかねのご褒美もらってビクビクしてる。

27

28 おら、休んでねえでガンガン動けよ！」

29

30 SE 水音&肉を打つ音 いきなり激しく

31

32 【激しめの吐息30秒ほど】

33

34 【2】

35 庵「中がうねって……、狭すぎる。

36

37 吸い取られてくみたいだ……！

38

39 奥突くたびにイって、締まって……

40

41 はあ、すっげ……！

42

43 こりゃあ、マジで稼げそうだな……！」

1  
2 【2】  
3 庵「もう無理？ イけない？

4 勝手にイってるくせに何言ってるんだよ。  
5 イきたくねえなら、少しは我慢しろってんだよ！  
6 おら！ おら！

7 【嘲笑】ほらまた、いった。  
8 こらえ性のねえザコまんこには、  
9 たっぷりお仕置きしてやんねえとな！」  
10

11 【激しめの吐息1分ほど】  
12

13 【1】

14 庵「おい、こっち向け。

15 ほら、キスしてやるから。

16 舌だせて、ほら……ん、んう……！」  
17

18 【キスしたままフィニッシュに向かう吐息。秒数お任せしますのでや  
19 りやすいタイミングで終わらせてください】  
20

21  
22 庵「はあ……はあ……はー……  
23 よしよし……」

24 よく頑張ったな。お疲れさん。【額にキス】  
25

26 庵「なんだ……泣いてんのか？  
27 このくらいで泣いてちゃ、風俗なんてやっぱ無理だよ。  
28 才能があることは認めるけどな」  
29

30 【ヒロイン、庵の頬をひっぱたく】  
31

32 SE:叩く音  
33

34

1

2 【1】

3 庵「いつて……ッ

4 はは。威勢がよくて結構なこったな」

5

6 庵「そろそろ、俺から降りて助手席に戻ってくれ。

7 店まで送ってく。

8 ——それとも、これから風俗の面接に行くか？

9 今と同じのを、十人くらい連続でやらされたいなら

10 連れてくが……」

11

12 【ヒロイン、慌てて拒否する】

13

14 庵【笑って】だよな。

15 けどまあ……そうだな。

16 俺もそこそこ楽しめたし、利息分は支払い済にしてやるよ。

17 一か月後にまた店に来るから、

18 その時までには、どうするか考えておくんだな」

19

20 【c 耳元】

21 庵「おとなしく店を売るか……

22 もう一か月、返済を待ってもらおうかを、な」

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

1 ■トラック3 4分程度

2 トラック2から数日後。

3 庵が「ただの客」として店を訪れ、逃げた彼氏を探していることを告げ  
4 て立ち去る。

5 場所：カフェ

6 時間：昼間

7 SE ドアが開く音、ドアベルの音。

8  
9  
10  
11 【庵がランチタイムにヒロインのカフェに行くと、ランチタイムなの  
12 に誰も客がない】

13 【10】

14 庵「あれ？ なんだよ、ランチタイムだったのに、

15 閑古鳥じゃねえか……」

16 【ヒロイン、警戒する】

17 【6→19】

18 庵【軽く笑って】「なんだよ、その顔。

19 ガラガラのお店に客がきたんだ。

20 まずは「いらっしやいませ」だろ。

21 ランチセットのA。コーヒーで」

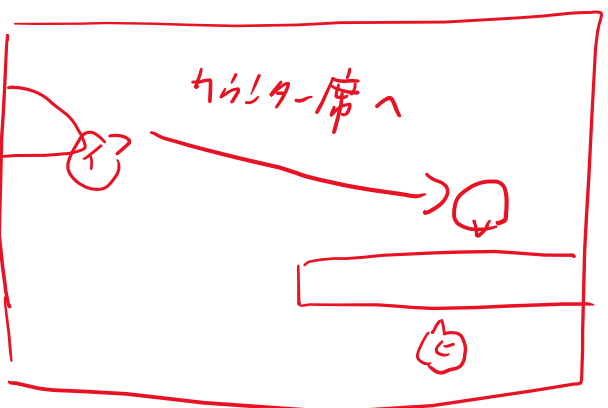
22 SE：移動する足音

23 SE：椅子に座る

24 【19】

25 庵「あ、コーヒー先に頼むわ。

26 ミルクと砂糖多めでな」



- 1 SE:豆を挽く
- 2 SE:フィルターに豆を入れる
- 3 SE:ドリッパーにお湯を注ぐ
- 4
- 5 【19】
- 6 庵「ああ……やっぱ、いい香りだな。
- 7 前に来た時、あのコーヒーすげえ美味かったなと思ってさ。
- 8 コーヒーなら何でもいいかと思って、
- 9 近場を何件か回ってみたんだが……
- 10 あんたのオリジナルブレンドか？」
- 11
- 12 【ヒロイン「お父さんのブレンド」】
- 13
- 14 庵「へえ……親父さんの味を守ってるってわけか。
- 15 なるほどね」
- 16
- 17 SE:テーブルにカップを置く
- 18
- 19 【6 座って】
- 20 庵【「一口すすする」】ま、いくらコーヒーの味が良くて、
- 21 立地がこれじゃあ、純喫茶をやるには向かねえよ。
- 22 改めて調査してみたが、人気のチェーン店が
- 23 半径100メートル以内に五軒もある」
- 24
- 25 【ヒロイン「店を売れって説得に来たの？」】
- 26
- 27 庵「そう目くじら立てるなよ。
- 28 立地が悪いだけで、物は悪くないって言ってんだ。
- 29 店を売って借金を返しても、
- 30 いくらかローンは残っちゃうだろうが……
- 31 この腕があるなら、またやり直せるだろうってさ」
- 32
- 33
- 34



1 【ヒロイン、落ち込む】

2

3 【6 座って】

4 庵「……そんな暗い顔すんなよ。」

5 一応、いい知らせも持ってきたんだ」

6

7 【ヒロイン「いい知らせ？」】

8

9 庵「あんたの彼氏だよ。」

10 急に居場所の情報が転がり込んできてな。

11 俺の舎弟が追ってる。

12 奴が無事に捕まって、首尾よく金を回収できれば、

13 あんたはこの権利書を取り戻せるってわけだ」

14

15 【ヒロイン「彼がお金を返せなかったら？」】

16

17 庵「金が用意できなきゃ、稼いでもらうまでさ。」

18 漁船に乗せてもいいし、臓器を売らせてもいい。

19 あいつを殺せるなら一千万くらいぼんと出すって女も、

20 何人かはいるだろうよ」

21

22 【ヒロイン「ひどいことはしないでほしい」】

23

24 庵「あ……？」

25 なんだよ、お前……自分を騙した詐欺野郎をかばうのか？

26 【うんざり】冗談だろ。

27 あいつが俺に金を返したら、

28 この店はまたあんたと、あの詐欺師の共同資産になるんだぞ。

29 つまりあいつは、また店を担保にして金を借りられる。

30 俺は二度と貸さねえから、もっと別の、

31 さらにえげつない取り立てする闇金に行くだろうなあ、あいつ。

32 そうしたら……あんたはどうなると思う？」

33

34 【ヒロイン、はっとする】

1  
2 【6 座って】  
3 庵「ようやく、博愛精神で麻痺してるお前の頭も、  
4 身の危険ってやつを感じ始めみてえだな。  
5 俺は取り立て屋としては優しい方だって、  
6 少しは気づいていただけたか？」  
7

8 SE:電話の呼び出し音

9 SE:出る庵

10

11 【逃げた男が見つかったと連絡を受ける庵だが、たった今ヒロインが  
12 かばったばかりの男なので今一つテンションが上がらない】  
13

14 【6 ヒロインを見ずに】

15 庵「俺だ。どうした？」

16 ——わかった、すぐ戻る。

17 丁重に扱えよ。大事な商品だからな」  
18

19 SE:電話切る

20 SE:立ち上がる庵

21

22 【6 ヒロインを見て】

23 庵「悪い、仕事だ。」

24 ランチセットのホットサンド、

25 車で食うから包んでくれ」  
26

27 庵「あ、それと……」

28 その……あー……

29 あんたがブレンドした豆をさ、

30 持って帰って淹れたら、

31 ここで飲むのと同じ味になるのか？」  
32

33 【ヒロイン「八割くらいは」】  
34

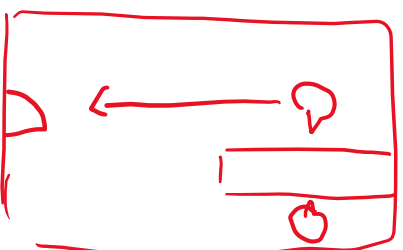
1 庵「八割か……そうか。」

2 じゃあ、やっぱりここにこねえとな。

3 ——また来る。じゃあな」

4 SE: 去る足音

5 SE: ドアの開閉



6 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34

1 ■トラック4 4分程度

2 トラック2から一か月後。  
3 ついに返済期限がやってきた。  
4 しかし庵はすでに逃げた男を捕らえており、ヒロインに「復讐の機会を  
5 やる」と囁くが、ヒロインはそれを拒絶。庵の逆鱗に触れることになる。

6  
7 SE ドアが開く音、ドアベルの音。

8  
9  
10 【G】

11 庵「よう。俺が閉店後に来たってことは、  
12 どういう事かわかるよな？  
13 返済の期日だ。  
14 だが、ちょっと事情が変わってな」

15  
16 庵「見つかったよ、お前の彼氏」

17  
18 【ヒロイン、喜ぶ】

19  
20 SE：衣擦れ

21  
22 庵【得意げに】落ち着け、落ち着け。

23 なあ、あんたの彼氏、どこにいたと思う？

24 【笑いながら】ホテルにデリヘル三人呼んで

25 盛り上がったとよ！

26 彼氏の写真と名前をバラまいといたから、

27 俺に連絡が入って、やつは今うちの事務所にいる。

28 口座を確認したが、もう百万も残っちゃいなかった。

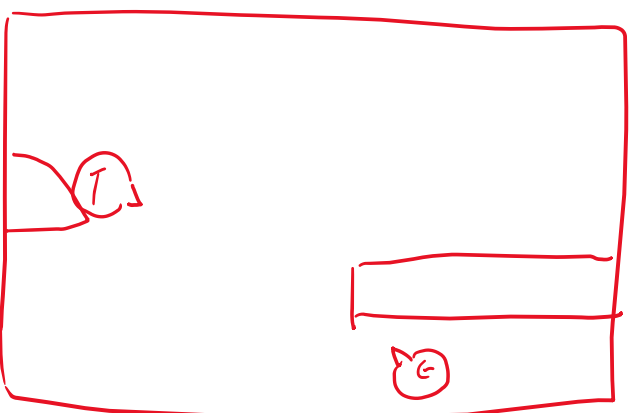
29 そろそろ次のカモを見つけるか……って思ってたところだよ」

30  
31 【ヒロイン、言葉もない】

32

33

34



1 【6】

2 庵「で、こう言ってるんだ。

3 店を売って借金を返すから、ひどいことはしないでくれってな。

4 だが、それには共同経営者のあなたの許可が要る。

5 金をだまし取って逃げた男のために、

6 女が大事な店の権利を手放すと思うのか？ って聞いたらさ、

7 あいつなんて言ったと思う？

8 “あいつは俺に惚れてるから、上手く言いくるめれば簡単に

9 許してくれる” ってよ」

10

11 SE:近づいてくる足音

12

13 【6→1】

14 庵【「にやにやと」】どうする、オーナー。

15 まだ“彼にひどいことしないで”なんて言葉が出てくるか？

16 彼にも何か事情があって、

17 いつか戻ってきてくれるって思うか？」

18

19 【ヒロイン、沈黙する】

20 【庵、ヒロインの耳元でささやく】

21

22 【6】

23 庵「憎いよなあ、許せねえよあ。

24 けど、これは復讐のチャンスだ。

25 今から事務所に電話するから、

26 あんたの口から、直接くそ野郎に言ってやれ。

27 店は売らない。臓器でも売って二度とツラを見せるなってな」

28

29 【ヒロイン「店を売る」】

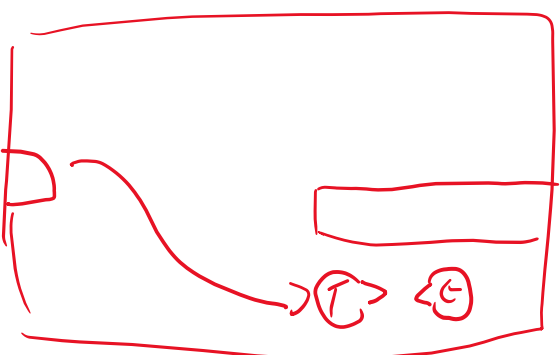
30

31

32

33

34



1 【1】

2 庵「イラっとして」は？ 売る……？

3 おい……おいおいおいおい……！

4 あんなに抵抗してたくせに、

5 クソ野郎を守るために、あっさり店を手放すのか？

6 【忌々しげに】お前……ほんと、救いようのない馬鹿女だな！」

7

8 庵「本気であいつに惚れてるのか？

9 女を食い物にする詐欺師に？

10 そういう趣味の変態かよ……！」

11

12 【ヒロイン「違う」】

13

14 庵「違うなら、なんでかばおうとするんだ！

15 正義の味方にでもなったつもりか？

16 誰かを守る自分ってステキって？

17 なるほどな……ようやくわかったよ。

18 あんたが昔、俺なんかを守ってくれた理由が。

19 ようは、お前のオナニーだったわけだ。

20 軟弱ないじめられっ子の庵ちゃんを、

21 今日私が助けてあげた——って、興奮してたわけだ」

22

23 【ヒロイン「違う」】

24

25 ※このセリフから二人称が「あんた」から「お前」になります

26 庵「違わねえよ！ なあ、覚えてるか？

27 昔の俺は、何度も「かまうな」って言ったんだ。

28 大丈夫だから放っておいてくれて頼んだ。

29 なんてかわかるか？

30 かばわれるたびに、みじめな気分になるからだよ！」

31

32

33

34

1 【1】

2 庵「俺は殴られるくらい平気だった。

3 川に突き落とされても、物置に閉じ込められても、

4 虫を食わされても平気だった。

5 なのにお前がいちいち俺をかばったせいで、

6 俺は女の後ろに隠れる臆病者にされちまったんだよ！」

7

8 【ヒロイン「そんなつもりじゃなかった」】

9

10 【1】

11 庵「お前にとっては、あの頃の俺も、

12 詐欺師のクソ野郎も同じってわけだ。

13 本当に……お前って女は、

14 俺をみじめな気分させるのが得意だよなあ」

15

16 【ヒロイン、泣き出す】

17

18 庵【困って】「んだよ……泣くなよ……！」

19 俺はただ……別に泣かせたいわけじゃなくて……

20 ああ、くそ……！」

21 デカイ声出して悪かった。

22 八つ当たりだよ、ただの。全部忘れてくれ」

23

24 庵【気分を変えて】「あーあ、アホらし……」

25 店、売るんだろ？」

26 今日は書類が手元にねえから、明日また来る。

27 お前の彼氏連れてな。それで、この関係もおしまいだ」

28

29

30 庵【優しく】「怖い思いさせて悪かった。

31 信じられねえと思うけどよ、

32 俺はほんとに……お前の助けになりたかったんだ。

33 少しでも、昔の借りが返せたらって……」

34

1 【1】

2 庵「さっきはああ言っちゃったけど、  
3 守ってもらえて嬉しかったのも嘘じゃない。

4 お前にとって、俺は特別なのかもって期待して……  
5 初恋だったからさ」

6  
7 庵「でも、お前は誰にでも優しいだけで……

8 【失笑】自分を騙したクソ野郎にまで優しくして……」

9  
10 【ヒロイン「詐欺師に優しいわけじゃない」】

11  
12 庵【「きよとん」ん？ 優しきじゃないなら、  
13 なんで急に店を売る気になったんだ……？」

14  
15 【ヒロイン「共同名義が気持ち悪くなってきたから、最初から売るつも  
16 りだった」】

17  
18 庵「——は？ え？ 最初から？

19 って……俺が彼氏見つかって話する前から？  
20 売る気だったのか？

21 そもそも、今日は店を売る気で俺を待ってたのか？  
22 じゃあ、今までの俺のアレって……

23 はやとちり！？  
24 勘弁してくれよ！ ダッセエクソダッセエダサすぎるー！」

25  
26 【ヒロイン「初恋だったんだ……」】

27  
28 庵「バカやめろ！ 全部忘れる！

29 初恋の話は特に忘れろ！」

30

31

32

33

34



1 【1】

2 庵「くそ……にやにやしやがって……！」

3 おまえ、俺がやくざだって忘れてねえか？

4 俺がその気になりや、お前なんか……！」

5 【ふと勢いを失って】いや……何もしねえけど……！」

6  
7 【ヒロイン「ありがとう」】

8  
9 庵「ありがとう、ねえ……」

10 ほんと、度を越したお人よしだな、お前は。

11 忘れたのか？ お前、車で俺にやられてんだぞ」

12  
13 【ヒロイン「それも私を守るためだったし」】

14  
15 【1】

16 庵「ふーん……」

17 本当に、少しも怒ってねえってことか？」

18  
19 【ヒロイン、うなづく】

20  
21 庵「じゃあ……今から少し、出られるか？

22 新しい人生の門出を祝って、

23 俺の店で何か美味しいもん奢ってやるよ」

24  
25 【ヒロイン「俺の店？」】

26  
27 庵「そう、俺の店。

28 最近は、やくざも堅気の店持つてること多いんだ。

29 お前も俺のイロになりや、

30 田舎の店の一件くらい任せてやれるかもしれねえな」

31  
32 SE・胸板叩く音

33  
34

- 1 庵「いつて……！」
- 2 お前、意外とすぐ手え出るよな」
- 3
- 4 庵「冗談だよ、冗談。——まあ、半分はな」
- 5 —
- 6

■トラック5 15分程度

2 祝杯で飲み過ぎたヒロインは、酔った勢いで庵の部屋に持ち帰られ  
3 てしまう。

4 完全に据え膳のヒロインを前に興奮冷めやらぬ庵。  
5 やってるだけのトラックです。

7 場所…庵の部屋

8 時刻…夜

10 SE…ドア開閉

12 【酒の勢いでなんとなくそういう雰囲気になり、店から近い庵の部屋  
13 に到着するなりキスする二人】

15 【1 キスしながら】

16 庵「ん、ちゅ……は……」

17 ああ……すっげえ、酒の味……

18 よかったのか？ こんな……んう……ちゅ……

19 酒の勢いで、やくざなんかの部屋に来て……」

21 【3】

22 庵「悪いやつらに目えつけられて、

23 人生詰んじまうかもな」

25 【ヒロイン「どうせ半分詰んでる」】

27 【1】

28 庵「はは……！」

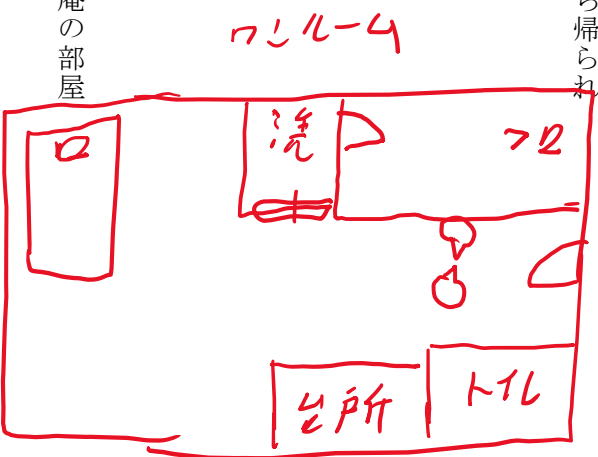
29 男に騙されて、せっかく開いた店店売らされて……

30 ローンもまだ残ってるのにな。

31 そうだな。半分詰んでるわ。

32 可愛いそうな女。可愛いそう、可愛いそう」

33



1 【1】  
2 庵「かわいそうだから、慰めてやらないとな。  
3 服、脱がすぞ」  
4  
5

6 SE…衣擦れ

7 【1 やや下から】

8 庵「ああ、この体……すげえ股間に来る。  
9 一か月前、店で見た時から犯したくてたまんなかった。  
10 お前が体売るって言い出して、だったら俺がって……  
11 飛びついちゃまった。」  
12

13 SE…触れる水音

14  
15 庵「おいおい……犯されること期待して、  
16 キスだけで下着まで濡れてんじやねえか。  
17 ああ、くそ……時間かけようと思ったけど、無理だわ。  
18 悪い、一回ここでやる」  
19

20 SE…ベルトはずす

21 SE…ファスナーおろす

22  
23 【7】

24 庵「ほら、足上げろ。  
25 入れるぞ、奥まで……そら！」  
26

27 SE…入れる水音

28 SE…激しく出し入れする音

29  
30 庵「ああ……なか、あっちい……  
31 酒でほてって……最高にいい。  
32 今までのどの女より……！」  
33

34 【吐息のみ1分程度】

1 【7】  
2 庵「はあ、はあ……両脚、俺の腰に回せ。  
3 奥、ゴツゴツついてやつから……  
4 ああ、そう……いい子だ、いい子……！」

5  
6 【吐息のみ1分程度】  
7

8 庵「おい、さつきから、そんなぎゅうぎゅうそんな締めんな……！  
9 ちったあイクの我慢しろって……！」

10 【笑い交じりに】まだベッドにたどり着いてもいねえのによ……！  
11 ああ、わかったわかった。  
12 今、終わらせるから……！」

13  
14 【フィニッシュに終わる吐息、秒数お任せしますので、やりよいタイミ  
15 ングで終わらせてください】  
16

17 SE・水音ストップ

18  
19 庵「うつく……！  
20 はあ……はあ……」

21  
22 【1】

23 庵「舌だせ。キスしてやるから。  
24 ほら、ん。んう……」

25  
26 【ディープキス十秒程度】

27  
28 庵「あー……わり、今の生でやっちゃまった。  
29 あとで舎弟に葉持ってこさせる」

30  
31 庵「なあ……このままベッドに運んでいいよな？

32 風呂なんていらねえよ。  
33 お前の汗の臭い、酒よりクラクラする。  
34 落ちないように、ちゃんとつかまってるよ」



1  
2 SE…足音

3 SE…足音に合わせた水音

4  
5 【3 耳元】

6 庵「なんだ？ 歩くたびにイってんじゃねえか。

7 奥突かれるの、そんなに好きか？

8 じゃあ、お望み通りゆすつてやるよ。

9 ほうら、奥の方、とん、とん、とんってな。

10 つはは……！ またイった。

11 一晩で何回イけるんだろうなあ？

12 楽しみだなあ？」

13  
14 【ヒロイン、庵のかた何度か殴る】

15 SE…軽めに何度か叩く衣擦れ

16  
17  
18 【1】

19 庵「ばか、この体勢で暴れんなって……！

20 落としたらあぶねえだろうが！

21 ほら、ベッドについたぞ」

22  
23 SE…ベッドの軋み

24 SE…ドサリ

25  
26 庵「やっぱ、女はこうやって上から見るのが一番いいわ。

27 腰も振りやすいしな。

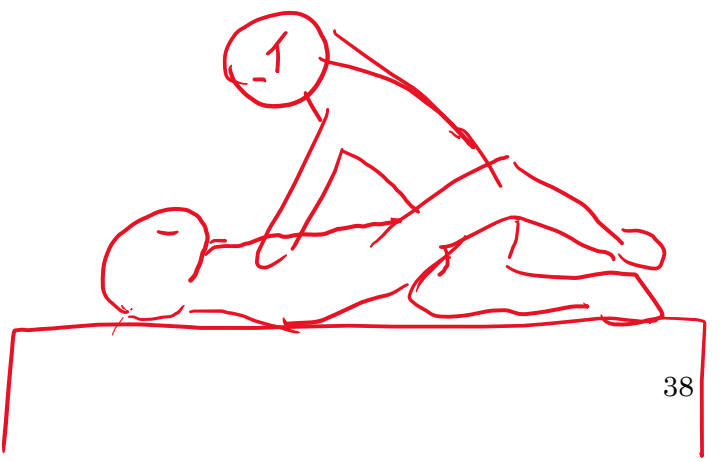
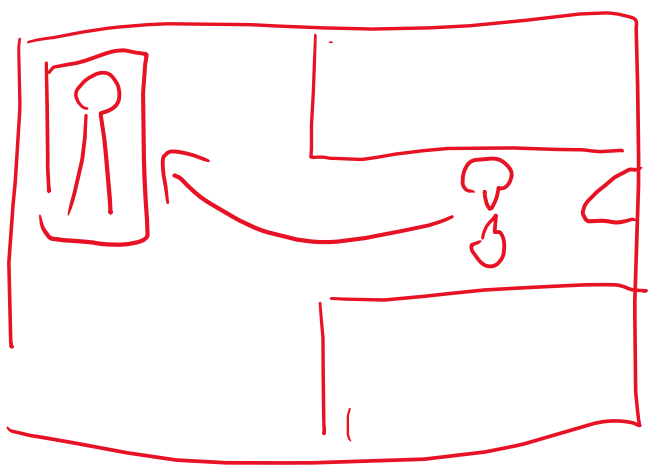
28 こうやって……」

29  
30 SE…ゆっくり出し入れする音

31  
32 庵「ゆっくり中こすられると、じれったくてたまんねえだろ？

33 うんうん、そうだなあ。

34 さっきまで激しくされてたのに、物足りねえなあ」



1  
2  
3 【3 耳元で】  
4 庵「お前の腰、もっと、もっとって動いてる。  
5 エロすぎ……」

6 庵「このまま、ゆーっくり動いてたら、  
7 どれくらいでイける？  
8 いつまでもイけなくてつらいか？」  
9

10 庵「じゃあ、おねだりしなくちな。  
11 // 庵ちゃん、乱暴に犯して“ってさ”  
12

13 【ヒロイン、言われるがままにねだる】  
14

15 【1】  
16 庵「おいおい、躊躇ゼロかよ。  
17 酒で脳みそドロドロか？  
18 盛った犬みてえだな。  
19

20 じゃ、犬にお似合いの犯し方、してやろうな」  
21 【庵、一度抜いてヒロインを四つん這いにする】  
22

23 【1↓5】  
24 庵「ほら、四つん這いになって、こっちにケツ向けろ。  
25 そうそう。お似合いだ。  
26 じゃあ、お望み通りイかせてやろうな」  
27

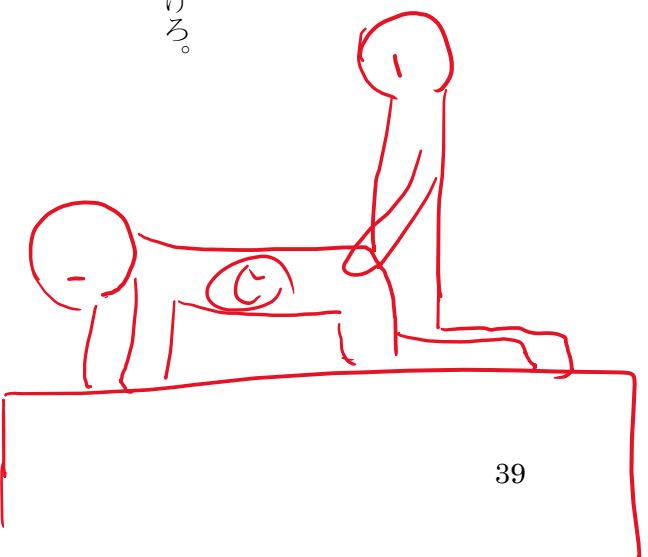
28 SE：挿入音

29 SE：激しく出し入れする音

30 SE：肉を打つ音

31  
32 【5】

33 庵「ほら、犬らしくいい声で鳴け！」  
34



1 【吐息のみ1分程度】

2

3 【5】

4 庵「あ？ おい、何腰逃がそうとしてんだ。

5 お前が……！！ イかせて……！！ 言ったんだろうがよ！

6 そうら、イけイけ、イキ狂え！

7 げっひんなイキ声上げてな！」

8

9 【ヒロイン、へばってベッドにうつぶせに倒れる】

10

11 SE…ドサリ

12 SE…水音ストップ

13

14 庵「んー？ どした？ 意識飛んだか？

15 なーあ。

16 俺、まだイってねえんだけど？」

17

18 SE…のしかかるベッドの軋み

19

20 【3 耳元で】

21 庵「このまま寝バックで続けてもいいよな？」

22

23 SE…軽く抵抗する衣擦れ

24

25 庵「なーに抵抗してんだよ。

26 逃がすわけねえだろ？

27 ほら、たん、たん、たん、たん。」

28

29 SE…ゆっくり出し入れ（60BPMくらいで）

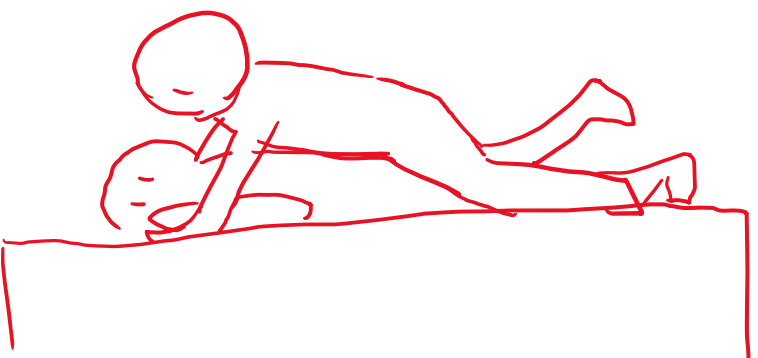
30

31 庵「ああ……すっげえ締まる……

32 奥に当てると、ぎゅっぎゅっ……

33 たまんねえ……これ、完全にハマったわ」

34





1 【3 耳元で】  
2 庵「なあ、俺の女になるって言えよ。  
3 そしたら毎晩、こうやってハメてやるから。  
4 どうせ半分詰んでる人生だろ？  
5 俺が大事に飼ってやるからさ」

6  
7 【ヒロイン「いや」】

8  
9 庵【残酷に】嫌じゃねえだろ。  
10 お願いします、だよ。  
11 ほら、お願いします、お世話になりますって言え。  
12 犯してくれてありがとうございますってな！」  
13

14 【責め立てる感じの吐息1分程度】

15  
16 庵「はは！ 泣きわめいても終わんねえよ！  
17 俺が、満足、するまでな……！  
18 ああ、ほんと、かわいそうなバカ女……！  
19 俺が守ってやるからな。  
20 俺が、この俺が……！」  
21

22 庵「はあ、はあ……ああ、出る……！  
23 名前呼べ、俺の名前……！」  
24

25 【フィニッシュに向かう吐息。やりよいところで終わらせてください】

26  
27 庵「はー……すっげ。  
28 腰抜けるかと思っただわ。  
29 あー、よしよし。がんばったがんばった【耳にキス】  
30

31 【庵、ベッドから降りて飲み物取りに行く】

32  
33  
34

1 【3↓14】

2 庵「あっちいし、のどカラカラ」

3  
4 SE:遠ざかる足音

5 SE:冷蔵庫開閉

6 SE:ペットボトルの蓋開ける

7 SE:近づいてくる足音

8  
9 庵、ヒロインの口移しで水を飲ませる

10  
11 【1】

12 庵「ほら、顔上げる。」

13 水飲ませてかるから【水を含む】

14  
15 【水の口移しからディープキス十秒程度】

16  
17 庵「これ飲み終わったら、また続き……な？」

18  
19 【ヒロイン「もう無理」】

20  
21 【7】

22 庵「無理じゃねえよ。俺がやるついたらやるんだよ。

23 で？ 次はどうやって犯してほしい？」

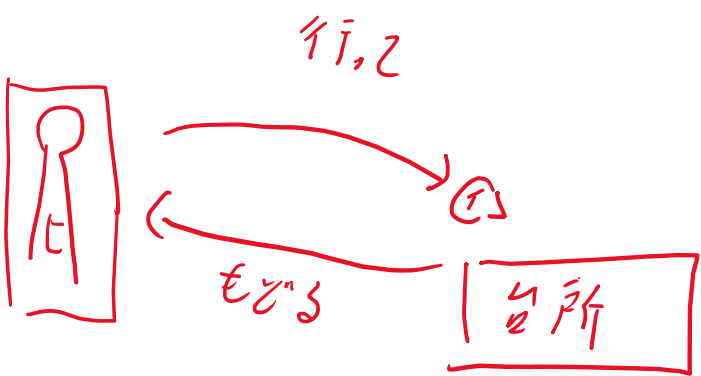
24

25

26

27

28



## ■トラック6 15分程度

1 全ての手続きを終わらせ、店を失ったもの、庵の尽力により残ったロー  
2 ンは彼氏に押し付けることに成功したヒロイン。  
3 何もかも失って再スタートとなるヒロインに、庵は居場所をプレゼン  
4 トする。

5  
6  
7  
8 時間：日中  
9 場所：その辺の喫茶店

10  
11 SE：紙にサインする

12 SE：ペンを置く

13  
14 【6 机を挟んで正面】

15 庵「よし。これで手続きは完了だ。  
16 借金を返して、残った金額をローンの返済に回す。  
17 返しきれなかった分のローンは、  
18 元彼君がうちから借りて完済する。  
19 こうすりゃ、少なくともお前は借金を背負わなくてよくなる」

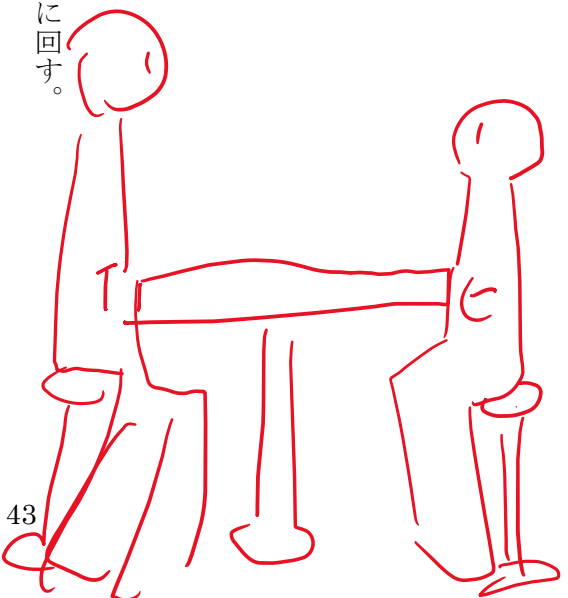
20  
21 【ヒロイン「元カレはどうやって借金を返すんだろう」】

22  
23 庵「心配しなくても、元カレには仕事紹介してある。  
24 もちろん、犯罪でも労働基準法違反でもないが、  
25 死ぬほどキツくて毎年何人も逃げ出してる仕事がない」

26  
27 【ヒロイン「私はこれからどうしよう」】

28  
29 庵「お前のこれからについても、  
30 一応、ご提案がないわけじゃないんだが……  
31 聞かか？」

32  
33 【ヒロイン「やぐさのイロは嫌」】



1  
2  
3 【6】  
4 庵「バーカ。  
5 わざわざお誘いするまでもなく、  
6 お前はもう俺のイロだって」

7 【ヒロイン「え……？」】

8  
9 庵「何アホヅラしてんだ。  
10 【からっと】ほかの男とやったら、  
11 お前の目の前でその男殺すからな」  
12

13 庵「ま、俺はイロだからって  
14 役に立たねえやつに分不相応な仕事を回したりはしねえよ。  
15 お前にびったりだと思っから紹介するんだ」  
16

17 【ヒロイン「一応聞く」】

18  
19 庵「この写真、見覚えねえか？」  
20

21 SE：写真を置く

22 SE：ヒロイン、イスガタ！

23  
24 庵「そう。お前の親父さんの喫茶店だ。  
25 “元”だけだな。  
26 それが、いまじゃ俺が経営してるイタリアンバルだ」  
27

28 【ヒロイン、驚く。】

29  
30  
31  
32  
33  
34

1 【6】

2 庵「前に話したろ？」

3 普通の店も経営してるって。

4 この物件が売りに出てるの見たら、まあ、ついな。

5 赤字出さなきゃいいか、程度で始めたんだが、

6 変にうまくいっちゃってさ。

7 いまじゃ雑誌にもよく載る有名店だ」

8

9 庵「今はダイナー営業だけなんだが、

10 カフェタイムも始めようって話があつてな。

11 バリスタでも探す気でいたんだが、

12 もしかしたら「昔ここで育った看板娘のコーヒ―」とかの方が

13 人気が出るんじゃないかって、

14 店長に相談したら乗り気でさ」

15

16 庵「どうだ？」

17 大した時給は出せねえが……

18 店の二階は居住スペースだから、住み込みで働ける。

19 物置きとして使ってたから、

20 ちと掃除は必要だが……」

21

22 【ヒロイン「すごいうれしい！」】

23

24 庵「そうか……」

25 お前も乗り気なら……うん、よかった。

26 じゃあ、今からさっそく行ってみるか？

27 夜になって、店長が店に来たら、面接しよう」

28

29 【ヒロイン「面接って、まさか……？」】

30

31 庵「そういう面接じゃねえよバアカ！

32 くそ、根に持つなよな……！」

33

34

1 移動の間

2 SE:足音フェードイン

3 SE:鍵を開ける

4 SE:ドアベル

5 SE:ドア開ける

6

7 【庵、ヒロインを先に中に入れる】

8

9 【1】

10 庵「レディファーストだ。

11 お先にどうぞ」

12

13 SE:足音

14 SE:背後でドアしまる

15

16 【14】

17 庵「何もかも昔のまま……ってわけにはいかねえが、

18 面影はかなり残ってるだろ。

19 バーカウンターの一部を片付けて、

20 お前が必要な道具を揃えることで話がまとまってる。

21 仕事場は夜に改めて説明するから、

22 とりあえず二階に上がるぞ。お前の部屋に案内する」

23

24 SE:階段を上がる音一人分

25

26 【1 ヒロインに背を向けて】

27 庵「どうせ断らねえと思ったし、

28 断られても口説き落とす気でいたからな。

29 いろいろ手配はすんでるんだ。

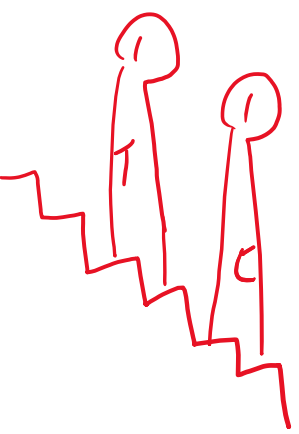
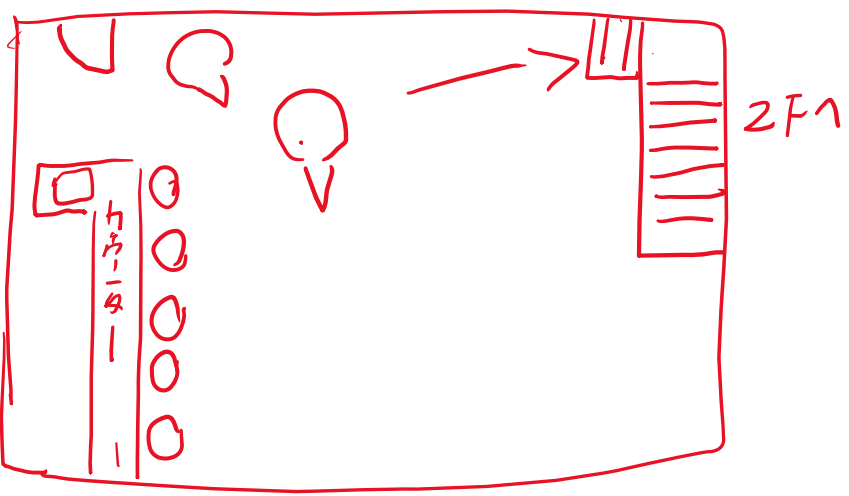
30 前の男と住んでた部屋に、

31 お前をそのまま置いとくほど、心は広くねえからな」

32

33 SE:廊下を数歩歩く

34



1 【1 ヒロインに背を向けて】  
2 庵「で、ここが——」

3  
4 SE:ドアを開ける

5  
6 【1 ヒロインを見て】

7 庵「今日からお前が住む部屋だ」

8  
9 【ヒロイン、部屋の中央に歩みを進める】

10  
11 SE:足音

12  
13 【5】

14 庵「必要最低限、ベッドと机は用意した

15 クローゼットにも、適当に服を何着か。

16 居間がまだこたつについてるが、一応冷蔵庫は置いてある。

17 風呂の場所は——」

18  
19 【ヒロイン「住んできたことあるから知ってる」】

20  
21 庵「ひと……あー、そうだな。

22 知ってるよな。お前の実家だ。

23 何か必要なものがあつたら、あとで一緒に買いに行くぞ。

24 引っ越し祝いだ。なんでも買ってやるよ」

25  
26 【ヒロイン「なんだかベッドが大きい」】

27  
28 庵「は？ ベッド？

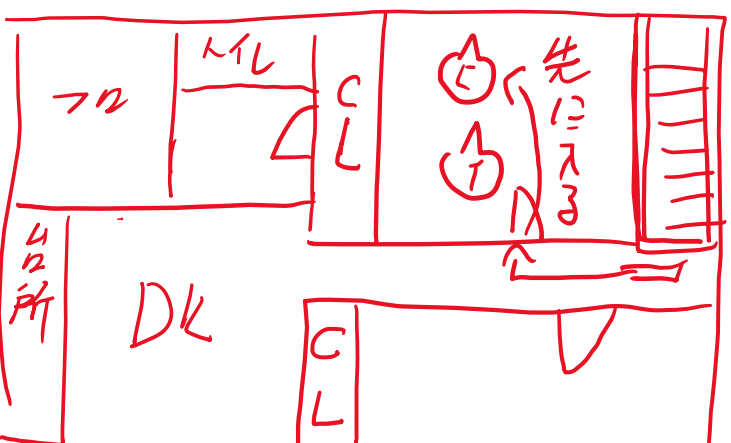
29 そりゃ、俺も寝るんだからダブルは必要だろ」

30  
31 【ヒロイン「c.c.c.」】

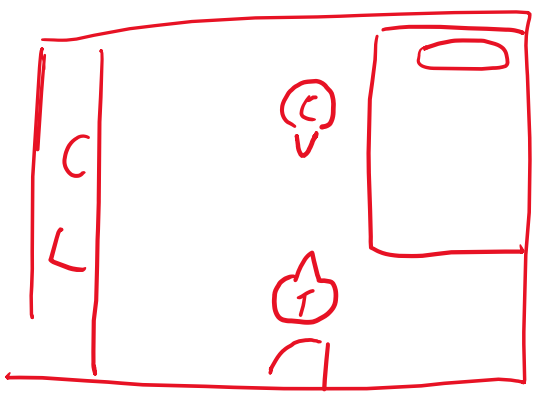
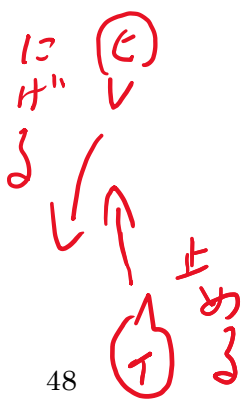
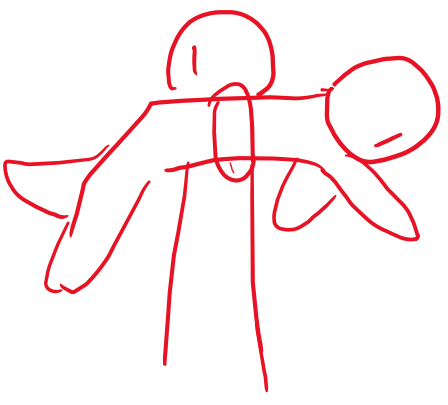
32

33

34



1 【1】  
 2 庵「なんだそのツラ……  
 3 まさか、俺のイロって話……  
 4 冗談だと思ってたわけじゃねえよな？」  
 5  
 6 【ヒロイン「思ってた」】  
 7  
 8 庵「へええええええ？  
 9 なるほどなあ。この前の夜、  
 10 さんざん体に教え込んだと思ってたが……  
 11 そうかそうか。まだ全然足りなかったか」  
 12  
 13 【庵、慌てて逃げようとするヒロインを捕まえる】  
 14  
 15 ~~【5】~~ ⑨ ↓ ③  
 16 庵「あ、こら逃げようとしてんじゃねえ！」  
 17  
 18 SE:ヒロインを引き寄せる  
 19 SE:肩に担ぎ上げる  
 20 SE:ヒロインジタバタ  
 21 庵<sup>⑫</sup>「よつと……  
 22 暴れんな暴れんな。  
 23 おーよちよち。ベッドに行きましょうねえ——つと」  
 24  
 25 SE:ドサリ  
 26  
 27 【ヒロイン、観念して暴れるのをやめる】  
 28  
 29  
 30 【1】  
 31 庵「そう硬くなるよ。優しくしてやるから。  
 32 なにせ今日は、薬も酒も入ってない、  
 33 シラフ同士の記念日だ」  
 34





1 【7】  
2 庵「全身たっぷり嘗め回して、  
3 触って、撫でて、もんで、つまんで……  
4 もっともっと♡ってなるような恋人セックスしような【耳にキス】」  
5

6 庵「服、脱がすぞ。  
7 お前も手伝えって。俺のベルトはずして、  
8 ファスナーおろして」  
9

10 SE：衣擦れ

11 SE：ベルトはずす

12 SE：ファスナー卸す

13 SE：衣擦れ

14  
15 【服を脱いだり脱がせたりする感じの呼吸数秒ください】  
16

17 【1】

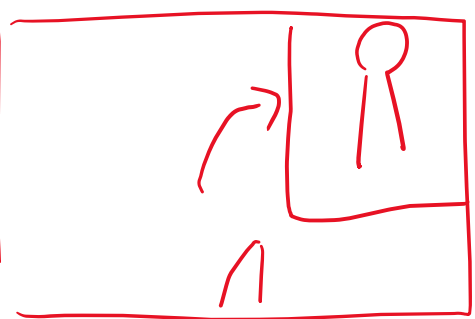
18 庵「いいねえ。  
19 真昼間っから全裸になって、  
20 初恋の女とベッドにいるなんて……  
21 最高のシチュエーションだ」  
22

23 庵「じゃあまず、緊張でかたーくなってるお前の乳首、  
24 かわいがってやろうな」  
25

26 【ヒロイン「明かり消したい」】  
27

28 【1 やや下から】

29 庵「んー？ 何？ あかり？  
30 消したら見えなくなるだろうが。  
31 いいんだよ、このままで。  
32 あーん……ちゅ、ちゅ……れろ……」  
33  
34



1 【胸を舐め30秒程度】

2

3 【1 やや下から】

4 庵「どうした？」

5 腰、動いてんぞ。

6 胸だけじゃ物足りないか？」

7

8 【ヒロイン、うなづく】

9

10 庵「じゃあ、こっちも舐めてやらねえとな」

11

12 【1 下から】

13 庵「あーあ。もう本気汁でどろっどろ。

14 聞こえるか？ この音、ほら」

15

16 SE：ゆっくりめにネチネチ

17

18 庵「奥からどんどんあふれてくる。

19 指でかきだしながら、全部舐めてやろうな」

20

21 【1分程度クンニ】

22

23 SE：ベッドが激しく軋む音

24 SE：潮吹き

25

26 庵「ひと……！」

27 おーおー、派手にいったなあ。

28 新品のシートが、お前の漏らした潮でぐしょぐしょだ。

29 お前のここ、もの欲しそうにひくついて、早く中に頂戴ってよ」

30

31 【庵、ヒロインの両脚を抱え上げてのしかかる】

32

33

34



1 【1】  
2 庵「ほら、口開ける。  
3 キスしながら入れてやるから。  
4 ん、んう……」

5  
6 SE:挿入音

7 SE:激しめに出し入れ

8 SE:ベッドのสปリング

9  
10 【1分ほど激しめの呼吸のみ】

11  
12 庵「ふっ……く……ああ、出そ……  
13 出すぞ……！」

14  
15 SE:ストップ

16  
17 【庵数秒ほど呼吸を整える】

18  
19 庵「ああ……お前の中、マジで居心地最高だわ。  
20 わかるか？ 出したばっかなのに、  
21 お前の中でまた硬くなってる」

22  
23 SE:ゆっくり目に出し入れ

24 SE:ベッドのสปリング

25  
26 【∞】

27 庵「もう少し付き合えよ。な？  
28 やだじゃなくてさ。  
29 背中に腕回して、腰に足絡めて。  
30 そう、さっきより深いとこ突いてやるから」

31  
32 【ゆっくりめの吐息から、徐々に激しめにテンション上げる】

33  
34



1 SE:スプリング&出し入れする音 ゆっくり↓激しく

2

3 【3】

4 庵「愛してるって言えよ、なあ……」

5 庵ちゃん、好き、愛してるって……

6 イクまでずつと言ってる。ずつと……！

7 はあ、はあ……ああ、たまんね……

8 頭クラクラする……！

9 はあ、はあ……ああ、出すぞ、また……！」

10

11 【フィニッシュに向けての吐息。やりよい秒数で終わらせてください】

12

13 【3】

14 庵「あー……やばい。

15 すごいいい気分。寝そう」

16

17 【ヒロイン「寝たら困る」】

18

19 【1】

20 庵「わかってるわかってる。

21 あと二時間もしたら人くるし、

22 さすがに風呂はいつとかねえとな。

23 食後のコーヒーも飲んでえし」

24

25 【ヒロイン「食後？」】

26

27 庵「そう、食後。

28 【セリフ立てて】「ごちそうさまでした」

29

30 【唇にキス】

31

32

33

34

